

	実践内容	アンケート内容	4段階評価		平均	昨年	○成果 ●課題 □改善方策	学校運営協議会委員の評価・所見		
学習に関して	1 「わかる授業」実現のための指導方法工夫改善 (ア)	■先生の授業は分かりやすいか。	生徒	3.2	3.2	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一研究授業では特別支援教育の視点や手立てを活用した授業を実施し、指導力向上と、指導法工夫改善に努めた。 ○ 2年生では論理コミュニケーション遠隔授業を体験し、論理的な思考方法を学ぶことができた。 ● 学年が上がるにつれ、学力の二極化が進んでいる。 □ 主題研究で授業における「視覚的な資料提示」「1時間の流れ(メニュー)の提示」「単一指示」を全職員で行い、授業改善に取り組んでいる。 	<p>学習に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ わかりやすい授業に取り組んでいる先生方の努力がうかがえる。 ○ 教材や授業案の工夫等、教師が授業力の資質向上に貢献できている。 ○ 昨年の評価・所見が今年度を活かされ、生徒への良い導きが見受けられる。 ● どの項目に関しても、保護者の評価が、生徒・職員に比べて低いのは、保護者が自分の子どもの成績に満足していないことを表しているのではないかと推察される。 ○ 自らの目標を定めて学習に取り組む大切さを生徒と保護者間で話し合える環境づくりが必要。 ○ キャリア教育は、修学旅行など格好の機会と思う。バス会社・旅行会社・ホテル・見学場所、色々な仕事をしている人に出会うチャンスを有効に活用して欲しい。 ○ 様々な職業や進路について、生徒が知る機会を増やして欲しい。 ○ 課題や自主的な家庭学習を提出しない生徒の背景にあるものを深いところで把握し可能な範囲で働きかけられるのも大切と思う。忙しい担任以外で、そういう動きのできるスタッフがおられると良いと思う。 ○ 延岡市の特徴を活かした「はげまし隊」による学習支援を有効に活用し、学力の向上を図る。 ○ 昨日まで知らなかったことを知るのが授業の楽しさの一つであることを生徒に浸透させること。その積み重ねが学習意欲につながる。 ○ 今ある半分以上の職業は今の生徒が就職する時代には、職種がなくなることを前提に将来の目標を意識して、学習にう繋げることが必要。 ○ 学習していることが、社会でどのような分野で生きてくるのか、理解すれば、自ずと学習意欲が湧いてくるのでは。 		
		■先生の授業は分かりやすいと思うか。	保護者	3.0						
		■分かりやすい授業を工夫しているか。	職員	3.4						
	2 目的意識を持った意欲的な学習の取組 (ア)	■目的を持って、意欲的に日々の学習に取り組んでいるか。	生徒	3.0	3.0	3.0			<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題や自主的な家庭学習には概ね取り組んでいる。 ● 課題や自主的な家庭学習の提出に取り組まない生徒が固定化している。 ○ 第1学年のうちから高校のことや将来のことについて真剣に考えさせ、学習意欲をもつような授業を実施していく必要がある。また、高校入試の結果など具体的な内容を発信して、生徒や保護者に高校入試に対して興味関心をもたせる啓発が必要である。 	
		■意欲的に学習するような指導をしているか。	保護者	2.9						
		■意欲的に学習するような指導をしているか。	職員	3.0						
	3 自立した社会人・職業人の育成を目指すキャリア教育の推進 (ア)	■自分事として将来の生き方を考え、将来の目標達成のために取り組んでいるか。	生徒	3.1	2.9	3.0				<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間や学活の時間を活用して、職業調べや高校調べなどを行い、各自でまとめた。外部の講師を招いて、仕事の内容、はたらく意義などについて話を聞くことができた。 ● 将来を考える取組はできたが、具体的な進路や進路実現に向けての努力をどうすべきか明確に考えることができない生徒が見られる。 ○ 今後も多くの職業人の考えに触れる機会を増やし、3年間を系統立てた進路学習の充実を図るとともに、保護者への啓発を行う。
		■自分の将来を考えるような指導をしているか。	保護者	2.7						
		■自分の将来を考えるような指導をしているか。	職員	2.9						
生活に関して	4 保護者の協力を得ながらの時間を守る態度の育成	■時間を守って学校生活を送っているか。	生徒	3.4	3.3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの生徒は概ね時間を守っている。 ● 遅刻する生徒が固定化している。 □ 遅刻気味の生徒に関して、時間を守ることの意義を理解させ、生徒指導支援員の協力をあおぐとともに、家庭と協力しながら生活習慣の確立を目指していく。 			
		■時間を守るよう指導しているか。	保護者	3.4						
		■時間を守るよう指導しているか。	職員	3.1						
	5 保護者の協力を得ながらの基本的な生活習慣や態度の育成	■学校の約束(身なり・きまり)をしっかり守っているか。	生徒	3.5	3.4	3.6		<ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの生徒は学校の約束を概ね守れている。 ● 服装容儀の乱れがあり指導することがあった。 ○ 遅刻な状況の生徒に関して、定期的に関係機関とのケース会議を実施した。 □ 今後もSNSの使用については、家庭の理解と協力を得ながら啓発を行う。 		
		■学校の約束を守るよう指導しているか。	保護者	3.5						
		■学校の約束を守るよう指導しているか。	職員	3.3						
	6 生徒の主体的な活動を充実させ、積極的に取り組む態度の育成 (イ)	■清掃・係活動・生徒会活動にきちんと取り組んでいるか。	生徒	3.7	3.5	3.6			<ul style="list-style-type: none"> ○ 無言清掃は概ねできている。生徒会活動についてもあいさつ運動やクリーンウォークデーなど自主的に取り組む姿が見られる。 ● 生徒会執行部、専門委員会に所属している生徒の意識は高いが、それ以外の生徒の中には、活動への意識が低い生徒も見られる。 □ 今後も生徒会役員を中心に、生徒会主体の活動を活性化し、取り組んでいくことで、生徒の団結と活力を高めていきたい。 	
		■清掃・係活動・生徒会活動の指導をきちんと行っているか。	保護者	3.4						
		■清掃・係活動・生徒会活動の指導をきちんと行っているか。	職員	3.3						
心と身体に関して	7 思いやりの心と、人権感覚を身につけた実践力ある生徒の育成 (ウ)	■いじめ・嫌がらせ等、絶対許さない気持ちをもっているか。	生徒	3.7	3.5	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権講話(全学年対象)では、人権感覚を育成するためにLGBTQへの理解といじめ・差別をテーマに年に二度行なった。 ● 毎月、学校生活アンケート、教育相談アンケート等に記入されていたいじめや嫌がらせの訴えをもとに、指導・対応する場面があった。 □ アンケートをもとに、いじめ不登校対策委員会、生徒指導部会を実施し、組織的な対応を行っていく。また、個々の教職員のアンテナを高く、いじめ・不登校の事前防止を心がけていく。 			
		■させない指導とアンテナを高くしているか。	保護者	3.5						
		■させない指導とアンテナを高くしているか。	職員	3.2						
	8 時と場に応じた態度であいさつできる生徒の育成	■あいさつがきちんとできているか。	生徒	3.6	3.3	3.4		<ul style="list-style-type: none"> ○ 礼法指導やあいさつについて、年度当初にしっかりと確認し、今年度は集会形式で礼法指導をきちんと行うことができた。 ● 自分からきちんとあいさつができることを目標として指導を行ったが、全生徒に徹底させることができなかった。 □ 生徒会の活動を支援しながら、様々な場面であいさつの意義や重要性を理解させ、自分から積極的なあいさつを行うことを常に意識できるようにする。 		
		■あいさつがきちんとできよう指導しているか。	保護者	3.3						
		■あいさつがきちんとできよう指導しているか。	職員	3.1						
	9 健康の増進と体力の向上に意欲的に取り組む生徒の育成 (ウ)	■むし歯の治療や体調管理に気をつけ、欠席等少なくなるよう努力しているか。	生徒	3.6	3.3	3.4			<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健安全部が主導し、感染防止対策を徹底した。今後も継続して対策を行っていく。 ● むし歯の治療率は、昨年度73.5%であったが、今年度は77.5%と昨年度の値を上回っている。養護教諭は、歯磨きクラブや部活動単位での啓発活動等、様々なアプローチをしているがなかなか大きく治療率が上がらない。今後も組織的に対応していく。 □ 今後も感染症拡大防止のために学校として出来ることを継続していく。 	
		■体調管理に気をつけ、欠席等が少なくなる指導をしているか。	保護者	3.5						
		■体調管理に気をつけ、欠席等が少なくなる指導をしているか。	職員	2.8						
関家庭に	10 保護者と協力しながら、情報機器の使用について考え、正しい実践力の育成 (ウ)	■家庭で情報機器(PC,スマホ,TV等)について約束事を決め守っているか。	生徒	2.9	2.6	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報教育については、日常的な指導や専門家を活用した講演などで啓発を行った。 ● SNS上での生徒間のトラブルを指導することが多かった。 □ 専門家を招いての講話等、外部講師を活用するなどの機会を設ける。 			
		■情報機器使用の指導を行っているか。	保護者	2.4						
		■情報機器使用の指導を行っているか。	職員	2.6						
関地域に	11 地域と協力しながら、地域貢献に意欲的に取り組む生徒の育成 (エ)	■地域をよくするために何をすべきか考えることがあるか。	生徒	2.7	2.6	2.6		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合的な学習の時間」で防災を学習する中で、地域の方の悩みを聞いたり、共にフィールドワークで地域の危険を調査したりなど、地域と連携した活動を行うことができた。地域の防災意識にもつながった。 ● 感染症の増加や当日雨で延期することがあり、連絡調整で難しい面があった。 ○ 参加者の連絡網の作成やホームページの活用など、スムーズに伝達できるようなシステムをつくる。 		
		■地域貢献活動に積極的に取り組ませているか。	保護者	2.3						
		■地域貢献活動に積極的に取り組ませているか。	職員	2.7						
									<p>心と身体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 礼法指導やあいさつが良くできている。それらができていることは生徒たちの財産にもなると思う。 ○ 7の項目に関しては、全ての項目の中で、生徒の評価が一番高い。それだけ、生徒たちがいじめや差別に高い関心を持ち、「やっちはいけない」と思っていることがうかがえる。 ○ 先生方もまめにアンケートをとり対応されている。 ○ 40~50年前にもいじめがあったように思う。人間関係の調整を教師がやるのは困難だ。しかし、人間性の教育はあきらめずに続けて欲しい。 ○ むし歯治療率が4%上がっていることは養護教諭をはじめ各アプローチの成果なので、今後も継続して小さな積み重ねをしていければと思う。 ○ 1つしかない命の尊さ、生まれてきて、今も生きていることは奇跡であることを認識し、自分も他人も大切にすることを原点において指導をお願いします。 □ 延中の生徒は、自分達の時代と比べるとおとなしく、小さくまとまっている感がある。大きな夢に挑戦するスケールの大きい生徒の育成を期待する。 □ 死ぬまで自分の歯で食事ができることが、美味しい食事につながる、健康体が維持できることを伝える。むし歯は早期治療が大切です。 <p>家庭に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報機器に関しては、親世代もつきあいがよく分かっていない。講演など子どもと一緒に聴く機会があれば良いかもしれない。また、情報機器の使用に関して、使用時間を制限するなどの約束を決める。保護者の協力が必要。 □ 親自身が子育てにストレスを抱えているように感じる。家庭教育の責任を果たす考え方も必要だ。 <p>地域に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会を中心とした活動ができるように導かれたことが素晴らしい成果でした。 ○ 教師・生徒・地域住民・行政との連携による津波避難所ツアーや津波避難訓練、防災パンフレットの作成ができた。ここに至るプロセスで顔の見える関係づくりができたこと大変良かった。 ○ 子ども達を通して学校や地域が繋がっていくことはとても価値があることである ○ 地区内の行事に保護者と一緒に参加できるよう行事案内を出してもらおう。 	